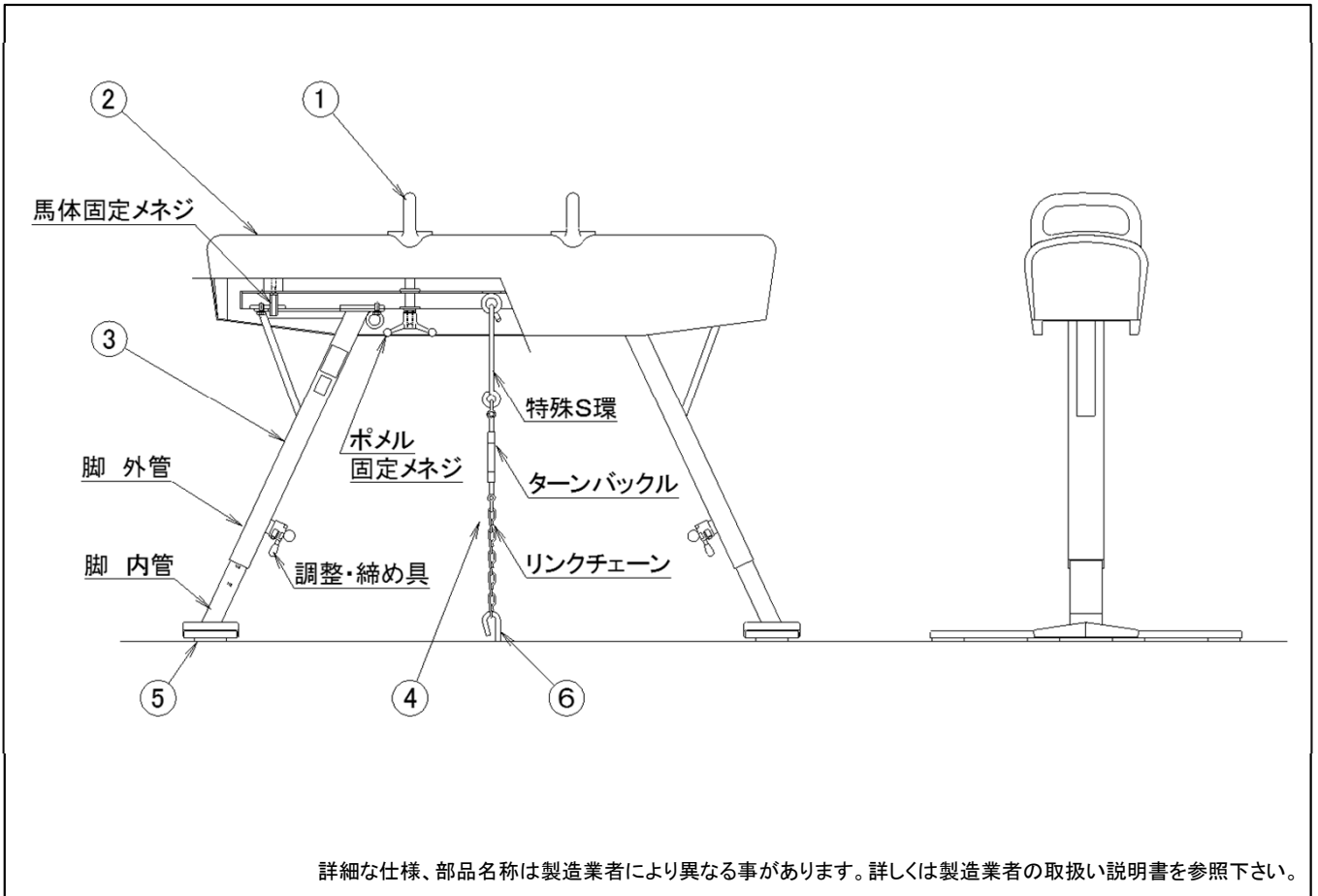


安全点検マニュアル(あん馬)

点検日 平成 年 月 日	施設名称	点検者
製造業者名	製品番号	シリアルNo
		納入年月日 年 月 日



点検パーツ	方法	項目と点検内容	定期点検時期	標準耐用年数	点検結果	判定結果
① ポメル	目視	ポメル表面に破損、亀裂、ささくれ、摩耗が無い事。炭酸マグネシウムの汚れは必ずふき取る事。	2ヵ月毎	3年		
	目視・触診	ポメルは幅調整ができ、ポメル固定メネジで確実に締め付けられる事。ネジ山がつぶれていない事。	2ヵ月毎	3年		
② 馬体	目視・触診	馬体表面に破損、亀裂、はがれ、摩耗、変形が無い事。	2ヵ月毎	3年		
	目視・触診	馬体本体と脚フレームは馬体固定メネジで確実に固定されている事。	2ヵ月毎	3年		
③ 脚	目視・触診	脚フレームは破損、亀裂、変形、サビが無い事。	6ヵ月毎	10年		
	目視・触診	脚フレームの高さ調整用の締め具は確実に動作する事。	3ヵ月毎	5年		
④ 緊張索	目視・触診	特殊S環は破損、変形、伸び、サビが無い事。	3ヵ月毎	5年		
	目視・触診	ターンバックルのネジ山がつぶれていない事。動作不良が無い事。	3ヵ月毎	5年		
	目視	リンクチェーンに破損、変形、サビが無い事。	3ヵ月毎	5年		
⑤ 土台、滑り止め具	目視・触診	土台は破損、亀裂、変形、サビが無い事。	6ヵ月毎	10年		
	目視	滑り止め具は破損、摩耗、はがれ、変形が無い事。	3ヵ月毎	2年		
⑥ S環	目視	破損、変形、伸び、サビが無い事。	3ヵ月毎	5年		

点検結果 記入例	確認 (異常無)	摩耗有	ゆるみ有	変形有	欠損有	劣化有	老朽化有	破損有	その他	判定結果 記入例	○	△	×	
	✓	w	y	u	p	l	x	b	e		○	問題無。この点検作業の範囲では異常無し。	△	要注意。早めの部品交換などの対応推奨。

点検実施時期、標準耐用年数は一般的な使用方法、頻度を基に想定されております。器具を使用する際は日常的に使用前点検を実施される事をお勧めします。
(点検実施時期、標準耐用年数は「スポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き」公益財団法人日本体育施設用器具部会発行より引用)

点検時メモ (点検時に気付いた項目をメモしましょう)

注意①: 点検により重大な問題(例: 変形、ヒビ割れ、ワイヤ素線切れ)が確認された場合は、直ちに使用を中止し、製造業者、または販売代理店にすみやかに連絡を取り、修理または交換等の適切な処置をしてください。

注意②: 危険を伴う作業(高所作業など)や、専門的な作業(分解・点検など)を伴う場合は、年1回以上の点検を専門業者へ依頼される事をお勧めします。